

2017/5/22

柏の景気情報（平成29年4月分）

柏 商 工 会 議 所

(本件担当) 柏商工会議所 中小企業相談所 振興課

〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18

TEL : 04-7162-3305

FAX : 04-7162-3323

URL : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>

E-mail : info@kashiwa-cci.or.jp

柏の景気情報（平成29年4月分）

○ 調査期間 : 平成29年4月21日 ~ 平成29年5月8日

○ 調査対象 : 柏市内156事業所及び組合にヒアリング

＜産業別回収状況＞

調査産業	調査対象数	回答数	回収率
全産業	156	73	46.8%
建設	44	17	38.6%
製造	33	18	54.5%
卸・小売	43	24	55.8%
サービス	36	14	38.9%

○ 調査方法 : 下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。

質問A 質問事項	回答欄		
	前年同期と比較した 今月の水準	今月の水準と比較した同 ころ3ヶ月の先行き見通し	
a.売上高 (出荷高)	1 増加	1 増加	2 不変 3 減少
b.採算 (経常利益ベース)	1 好転	1 好転	2 不変 3 悪化
c.仕入単価	1 下落	1 下落	2 不変 3 上昇
d.従業員	1 不足	1 不足	2 適正 3 過剰
e.業況	1 好転	1 好転	2 不変 3 悪化
f.資金繰り	1 好転	1 好転	2 不変 3 悪化

質問B 業界内のトピック(記述式)

DI値 = 1 増加他の回答割合 - 3 減少他の回答割合

※ DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上、採算、業況などの項目についての判断状況を表す。0(ゼロ)を基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※ DI値と景気の概況

DI \geq 50	50 $>$ DI \geq 25	25 $>$ DI \geq 0	0 $>$ DI \geq ▲25	▲25 $>$ DI
特に好調	好調	まあまあ	不振	極めて不振

【平成29年4月の調査結果のポイント】

※業況DIはやや悪化に転じる。先行きは依然として不透明感が強い※

○4月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲20.8(前月水準▲13.3)となり、マイナス幅が7.5ポイント拡大した。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲43.4(同▲50.0)である。プラス幅が縮小した業種は、サービス業±0.0(同△12.5)である。プラスからマイナスに転じた業種は、製造業▲11.1(同△5.8)である。マイナス幅が拡大した業種は、建設業▲17.6(同▲10.0)である。

【建設業】からは、「新年度を迎え、慌しかった仕事が急速に萎んだ。平準化を進めて貰いたい。」(土木工事業)、「今年度になり新築現場が例年より少ない。」(その他の職別工事業)、「昨年引き続き、量販・量販返し・新量仕上げ工事が増加。前年の四月ほど売上は高くないが、受注がある事に感謝し日々精進する。」(内装工事業)などのコメントが寄せられた。

【製造業】からは、「需要変動が大きく、人工の対応が難しくなってきた。」(その他の機械同部品製造業)、「前年度は仕事量が多かったので、人手不足を補うため外注に多く発注依頼したが、新年度に入り注文数が激減している。」(その他の金属製品製造業)、「世界情勢の悪化は他人事の様な距離感ではなくなってきた。今年度の前段からの売上落ち込みは不安が残る。」(印刷業)などのコメントが寄せられた。

【卸小売業】からは、「四月上旬は低温化が続き、十日くらいまでの売上はひどいものがあった。気温が平年並みになってからは、売上も上昇してきたが前半のマイナスを取り戻すことはできていない。」(婦人・子供服小売業)、「連休に向けて集客が見込めるイベントがない。商圏が狭くなっており、来街者が減少している。」(その他の各種商品小売業)、「昨年度大型食品店舗がこの地域に出店し、大きな売上のマイナスがあったが、売上の昨年対比でいうとだいぶ戻ってきた。」(各種食料品小売業)、「春のイベント関係が天候不良のため中止が相次ぐ。店売りは前年と変わらずだが、イベント分の減少が売上減になっている。」(菓子・パン小売業)などのコメントが寄せられた。

【サービス業】からは、「四月入社した社員とパートが家庭の事情・病気や仕事に馴染まない等の理由で退社。毎週募集するが応募ゼロ。月末になりに少し応募が入るが、経験者(有資格者)の応募が少ない。新年度(新学期)用品の売上が前年度を上回る。夏日のたよりが出てから、夏物の問い合わせが多くあり期待できる。」(その他の飲食料品小売業)、「運送業界の恒例化な人手不足が解消しない。」(一般貨物自動車運送業)、「社有物件の販売が好調。同業者からの情報が増え、反響数も安定している。リフォームが高どまりしている。」(不動産管理業)、「不動産の動きは一段落した。」(不動産賃貸業)などのコメントが寄せられた。

◎受注減少(新年度需要減)

各業種より、「新年度に入り注文が激減している。」(その他の金属製品製造業)、「大口顧客の不振が続いている為、新規取引先を開拓しているが、大幅な売上増に繋がっていない。」(一般産業用機械・装置製造業)、「新年度を迎え、慌しかった仕事が急速に萎んだ。平準化を進めて貰いたい。」(土木工事業)、「新年度になり、新築現場が例年より少ない。」(その他の職別工事業)などのコメントが寄せられた。

◎人手不足(人件費高騰)

各業種より、「人手不足が続くと当面のやりくりはできるが、業績に影響が出るので心配。」(その他の飲食料品小売業)、「運送業界の人手不足が解消しない。」(一般貨物自動車運送業)、「人件費の高騰、仕入単価の上昇などで採算ベース的にはまだまだ改善しなけれればならないところが多くある。」(各種食料品小売業)などのコメントが寄せられた。

◎客単価減少

各業種より、「積算単価が低く、先行き見通しも不明。直前になって決定する物件が増加。」(電気工事業)、「受注競争が激化し、施工単価の下落が心配。」(その他の職別工事業)、「四月売上は前年対比で減少。食品は生鮮三品の相場が高まる傾向が続く、お客様一人当たり買上げ点数減、客数減が続いている。」(その他の各種商品小売業)などのコメントが寄せられた。

	全産業	建設	製造	卸・小売	サービス
11月	▲24.3	▲25.0	▲14.2	▲41.6	▲6.2
12月	▲18.6	▲16.6	▲16.6	▲33.3	±0.0
1月	▲24.3	▲23.8	▲11.1	▲44.0	▲7.1
2月	▲22.2	▲20.0	▲5.8	▲45.4	▲23.0
3月	▲13.3	▲10.0	△5.8	▲50.0	△12.5
4月	▲20.8	▲17.6	▲11.1	▲43.4	±0.0
見通し	▲16.6	▲11.7	±0.0	▲39.1	▲7.1

見通しは今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

【平成28年4月の業況についての状況】

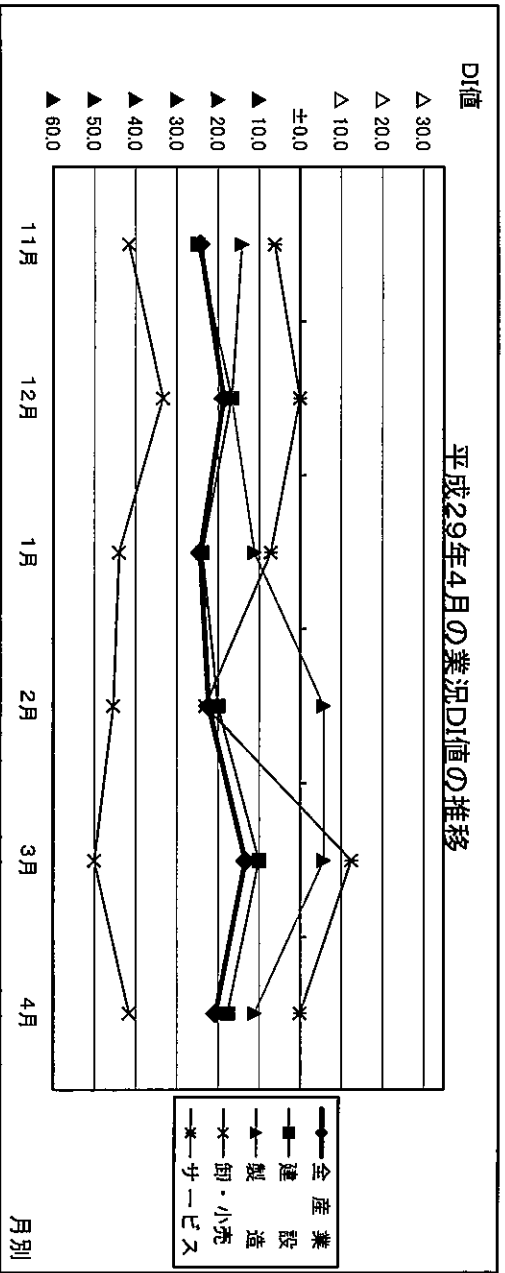
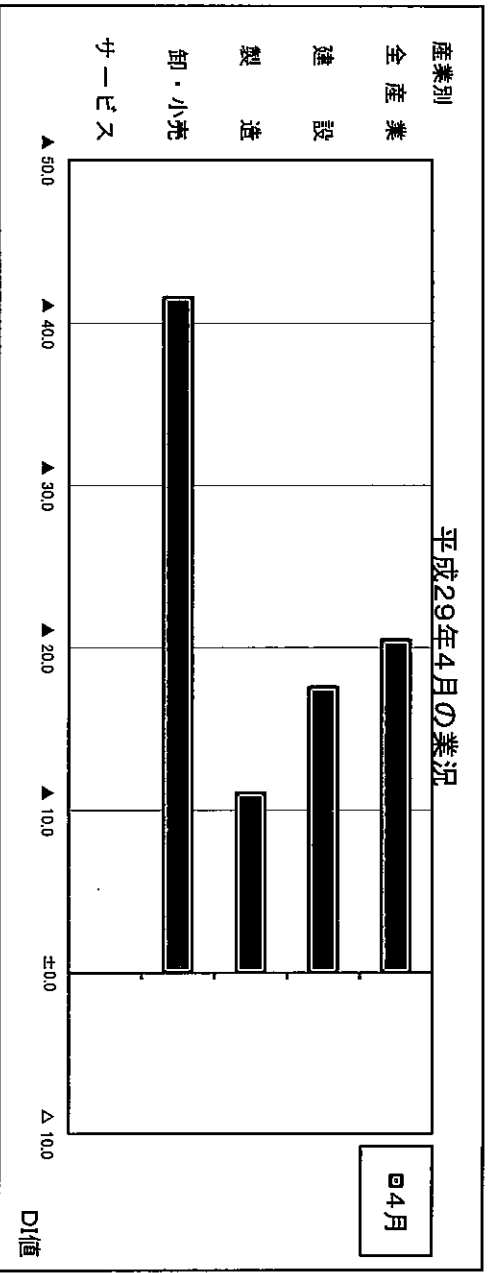
○4月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲20.8(前月水準▲13.3)となり、マイナス幅が7.5ポイント拡大した。
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲43.4(同▲50.0)である。プラス幅が縮小した業種は、サービス業±0.0(同△12.5)である。プラスからマイナスに転じた業種は、製造業▲11.1(同△5.8)である。マイナス幅が拡大した業種は、建設業▲17.6(同▲10.0)である。

○向こう3ヶ月(5月から7月)の先行き見通しについては、全産業では、▲16.6(前月水準▲17.3)となり、マイナス幅が0.7ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業▲39.1(同▲54.5)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、製造業±0.0(同△5.8)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業▲7.1(同±0.0)、建設業▲11.7(同▲10.0)である。

平成29年4月業況DI値(前年同月比)の推移

	平成28年		平成29年				先行き見通し 5月～7月(4月～6月)
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
全産業	▲24.3	▲18.6	▲24.3	▲22.2	▲13.3	▲20.5	▲16.4(▲17.3)
建設	▲25.0	▲16.6	▲23.8	▲20.0	▲10.0	▲17.6	▲11.7(▲10.0)
製造	▲14.2	▲16.6	▲11.1	△5.8	△5.8	▲11.1	±0.0(△5.8)
卸・小売	▲41.6	▲33.3	▲44.0	▲45.4	▲50.0	▲41.6	▲37.5(▲54.5)
サービス	▲6.2	±0.0	▲7.1	▲23.0	△12.5	±0.0	▲7.1(±0.0)



【平成29年4月の売上についての状況】

○4月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲2.7(同△2.6)となり、マイナス幅が5.3ポイント拡大した。

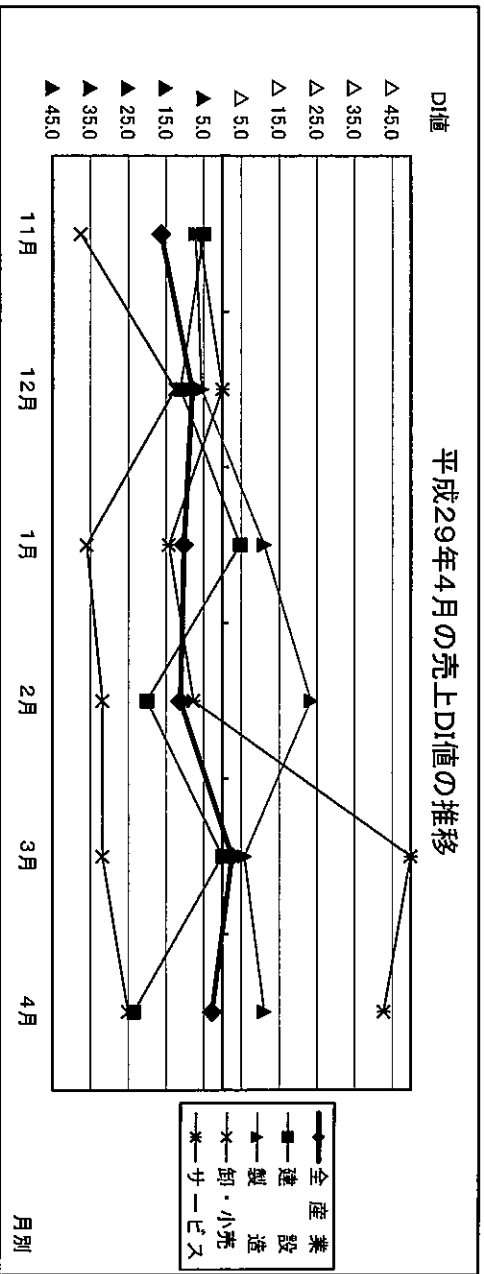
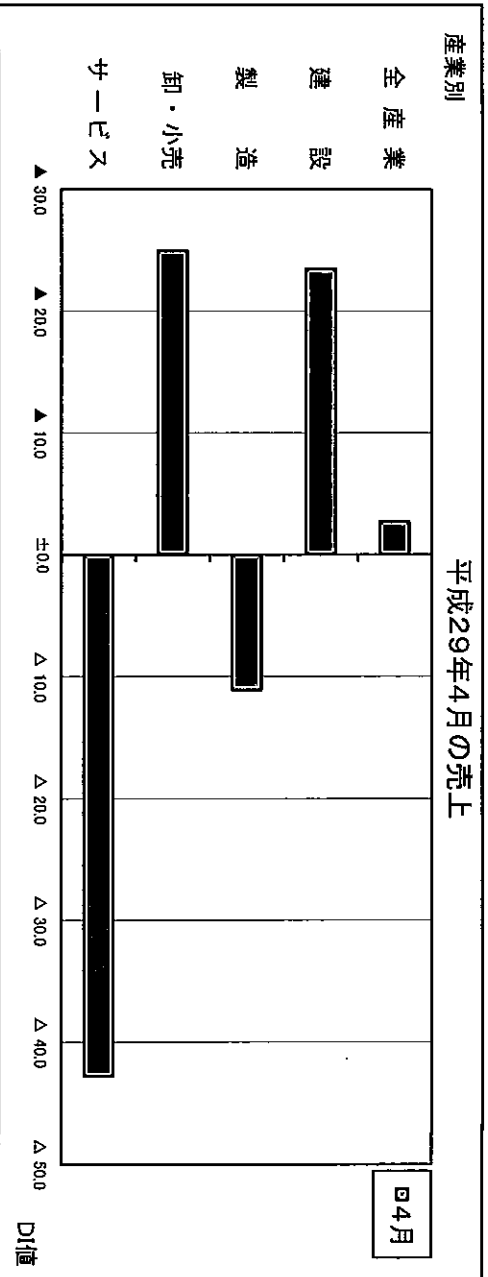
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、製造業△11.1(同△5.8)である。マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲26.0(同▲31.8)である。プラス幅が縮小した業種は、サービス業△42.8(同△50.0)である。マイナス幅が拡大した業種は、建設業▲23.5(同±0.0)である。

○向こう3ヶ月(5月から7月)の先行き見通しについては、全産業では、▲1.3(前月水準▲17.3)となり、マイナス幅が16.0ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、サービス業△28.5(同△12.5)である。マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、建設業△5.8(同▲20.0)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、製造業△5.5(同△5.8)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業▲30.4(同▲54.5)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、製造業△5.5(同△5.8)である。

平成29年4月の売上DI値(前年同月比)の推移

	平成28年		平成29年			先行き見通し 5月~7月(4月~6月)
	11月	12月	1月	2月	3月	
全産業	▲16.2	▲8.0	▲10.2	▲11.1	△2.6	▲1.3(▲17.3)
建設	▲5.0	▲11.1	△4.7	▲20.0	±0.0	△5.8(▲20.0)
製造	▲7.1	▲5.5	△11.1	△23.5	△5.8	△5.5(△5.8)
卸・小売	▲37.5	▲12.5	▲36.0	▲31.8	▲31.8	▲25.0(▲54.5)
サービス	▲6.2	±0.0	▲14.2	▲7.6	△50.0	△42.8(△28.5(△12.5))



【平成29年4月の採算についての状況】

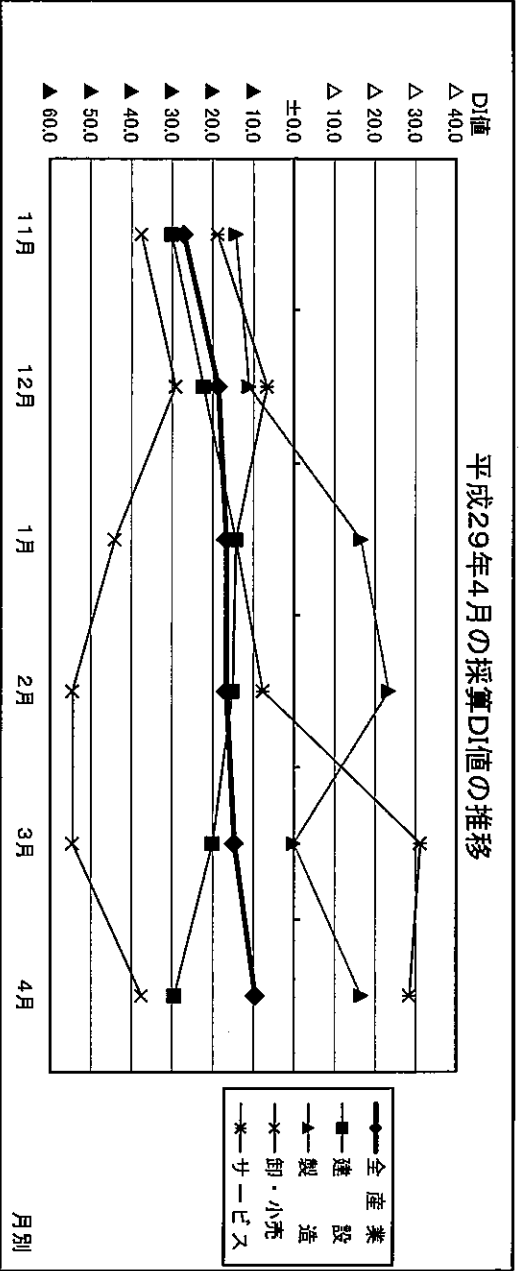
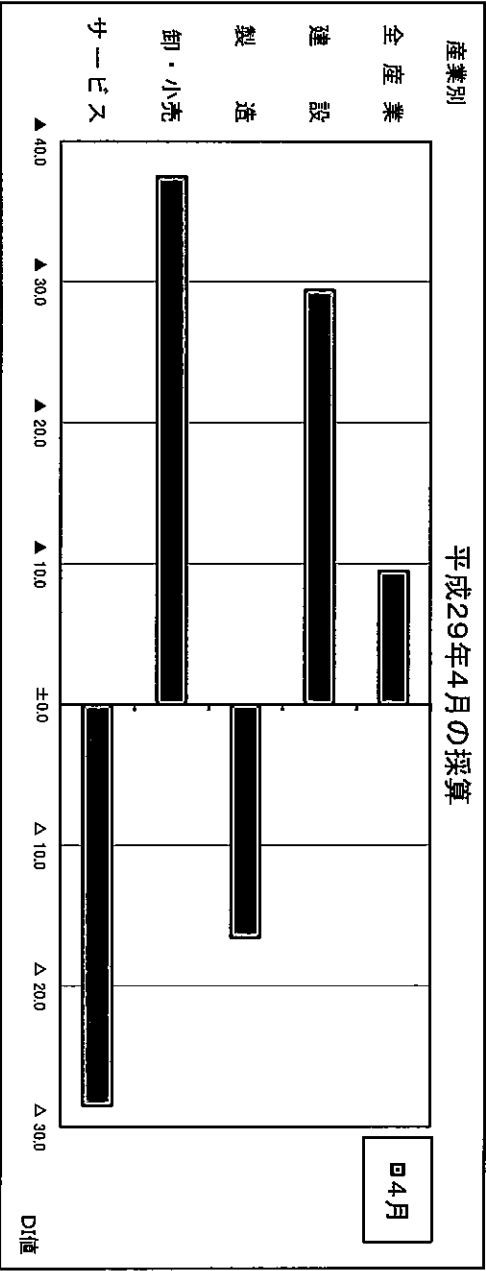
○ 4月の全産業合計のD1値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲9.7(前月水準▲14.6)となり、マナス幅が4.9ポイント拡大した。
 業種別では、前月水準と比べて、プラヌ幅が拡大した業種は、製造業△16.6(同±0.0)である。マナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲39.1(同▲54.5)である。プラヌ幅が縮小した業種は、サービス業△28.5(同△31.2)である。マナス幅が拡大した業種は、建設業▲29.4(同▲20.0)である。

○ 向こう3ヶ月(5月から7月)の先行き見通しについては、全産業では、▲12.5(前月水準▲28.0)であり、マナス幅が15.5ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲34.7(同▲63.6)、製造業±0.0(同▲11.7)、建設業▲5.8(同▲15.0)、サービス業±0.0(同▲6.2)である。

平成29年4月の採算D1値(前年同月比)の推移

	平成29年			平成29年			先行き見通し 5月～7月(4月～6月)
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
全産業	▲27.0	▲18.6	▲16.6	▲16.6	▲14.6	▲9.5	▲12.3(▲28.0)
建設	▲30.0	▲22.2	▲14.2	▲15.0	▲20.0	▲29.4	▲5.8(▲15.0)
製造	▲14.2	▲11.1	△16.6	△23.5	±0.0	△16.6	±0.0(▲11.7)
卸・小売	▲37.5	▲29.1	▲44.0	▲54.5	▲54.5	▲37.5	▲33.3(▲63.6)
サービス	▲18.7	▲6.6	▲14.2	▲7.6	△31.2	△28.5	±0.0(▲6.2)



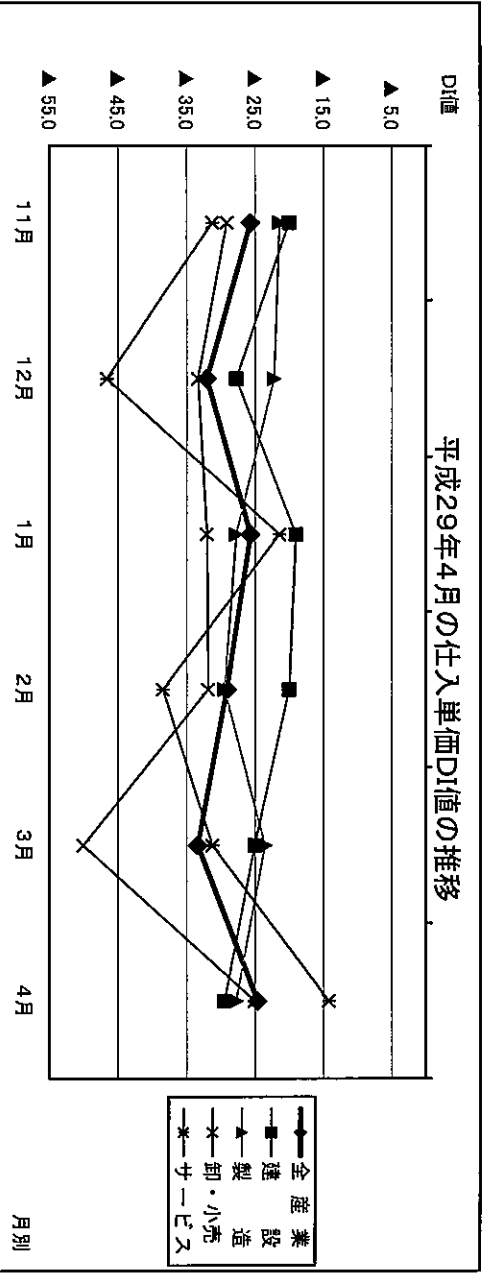
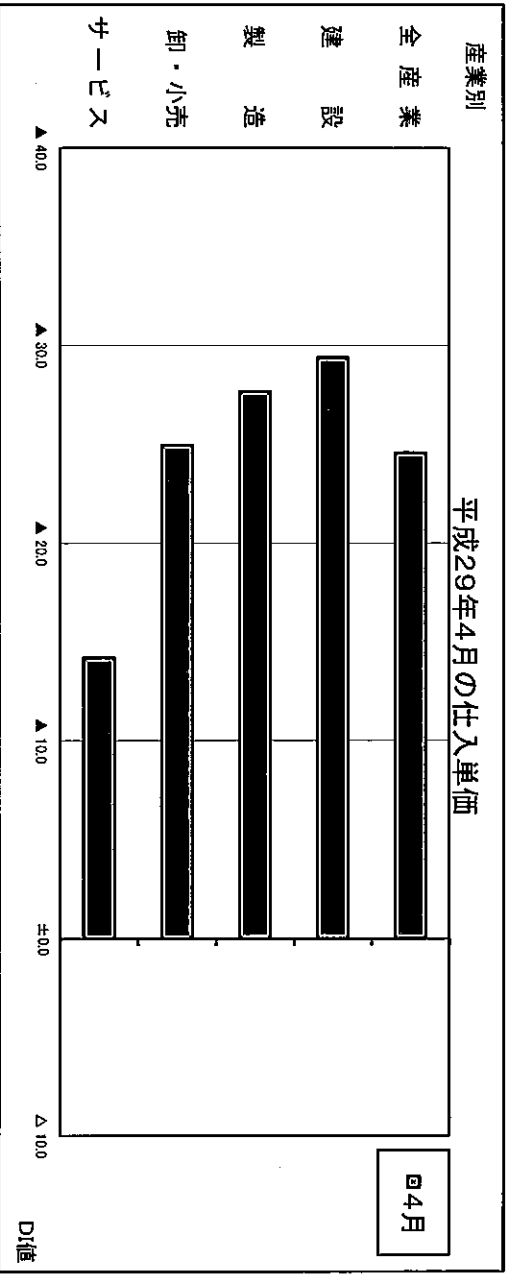
【平成29年4月の仕入単価についての状況】

○4月の全産業合計のD1値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲25.0(前月水準▲33.3)となり、マイナ幅が8.3ポイント縮小した。
業種別では、前月水準と比べて、マイナ幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲26.0(同▲50.0)、サービス業▲14.2(同▲31.2)である。マイナ幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、建設業▲29.4(同▲25.0)、製造業▲27.7(同▲23.5)である。

○向こう3ヶ月(5月から7月)の先行き見通しについては、全産業では、▲19.4(前月水準▲28.0)となり、マイナ幅が8.6ポイント縮小する見通しである。
業種別では、前月水準と比べて、マイナ幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業▲14.2(同▲31.2)、卸小売業▲21.7(同▲36.3)、建設業▲17.6(同▲20.0)、製造業▲23.5(同▲22.2)である。

平成29年4月の仕入単価D1値(前年同月比)の推移

	平成29年		平成29年			先行き見通し	
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月～7月(4月～6月)
全産業	▲25.6	▲32.0	▲25.6	▲29.1	▲33.3	▲24.6	▲19.1(▲28.0)
建設	▲20.0	▲27.7	▲19.0	▲20.0	▲25.0	▲29.4	▲17.6(▲20.0)
製造	▲21.4	▲22.2	▲27.7	▲29.4	▲23.5	▲27.7	▲22.2(▲23.5)
卸・小売	▲29.1	▲33.3	▲32.0	▲31.8	▲50.0	▲25.0	▲20.8(▲36.3)
サービス	▲31.2	▲46.6	▲21.4	▲38.4	▲31.2	▲14.2	▲14.2(▲31.2)



【平成29年4月の従業員についての状況】

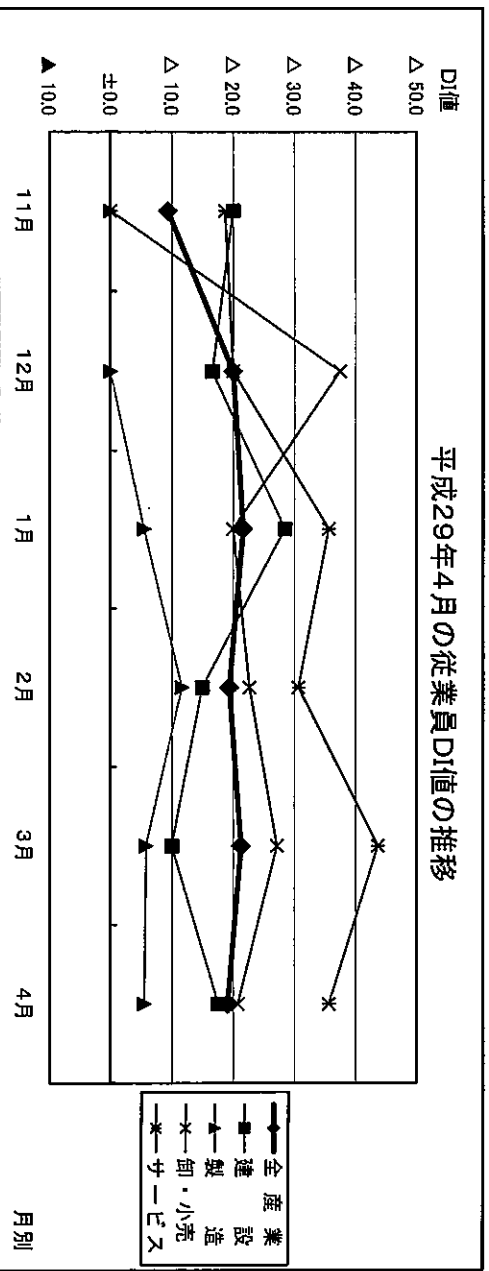
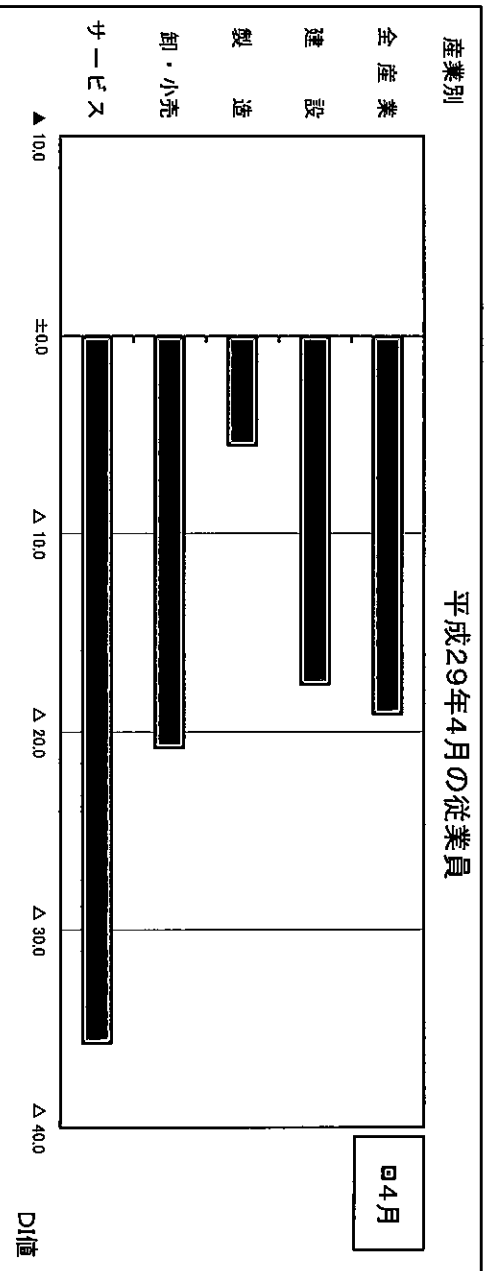
○4月の全産業合計のD1値(前年同月比ベース、以下同じ)は、△19.4(前月水準△21.3)となり、プラス幅が1.9ポイント縮小した。
 業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、建設業△17.6(同△10.0)である。プラス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、サービス業△35.7(同△43.7)、卸小売業△21.7(同△27.2)、7(同△27.2)、製造業△5.5(同△5.8)である。

○向こう3ヶ月(5月から7月)の先行き見通しについては、全産業では、△20.8(前月水準△20.0)であり、プラス幅が0.8ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業△16.6(同△5.8)、建設業△11.7(同△5.0)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業△35.7(同△43.7)、卸小売業△21.7(同△27.2)である。

平成29年4月の従業員D1値(前年同月比)の推移

	平成29年			平成29年			先行き見通し 5月～7月(4月～6月)
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
全産業	△9.4	△20.0	△21.7	△19.4	△21.3	△19.1	△20.5(△20.0)
建設	△20.0	△16.6	△28.5	△15.0	△10.0	△17.6	△11.7(△5.0)
製造	±0.0	±0.0	△5.5	△11.7	△5.8	△5.5	△16.6(△5.8)
卸・小売	±0.0	△37.5	△20.0	△22.7	△27.2	△20.8	△20.8(△27.2)
サービス	△18.7	△20.0	△35.7	△30.7	△43.7	△35.7	△35.7(△43.7)



【平成29年4月の資金繰りについての状況】

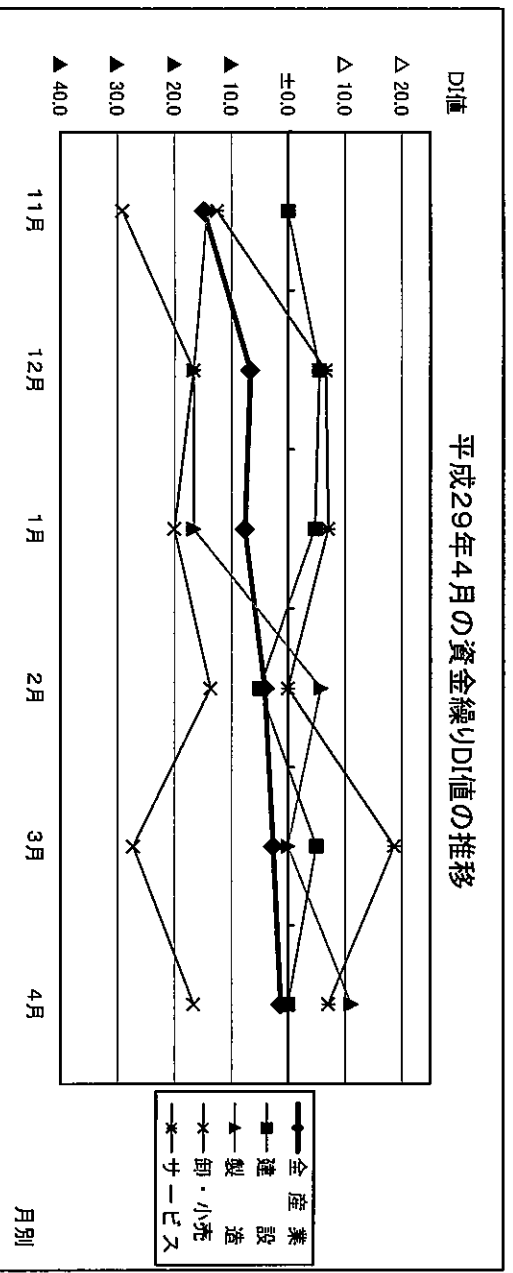
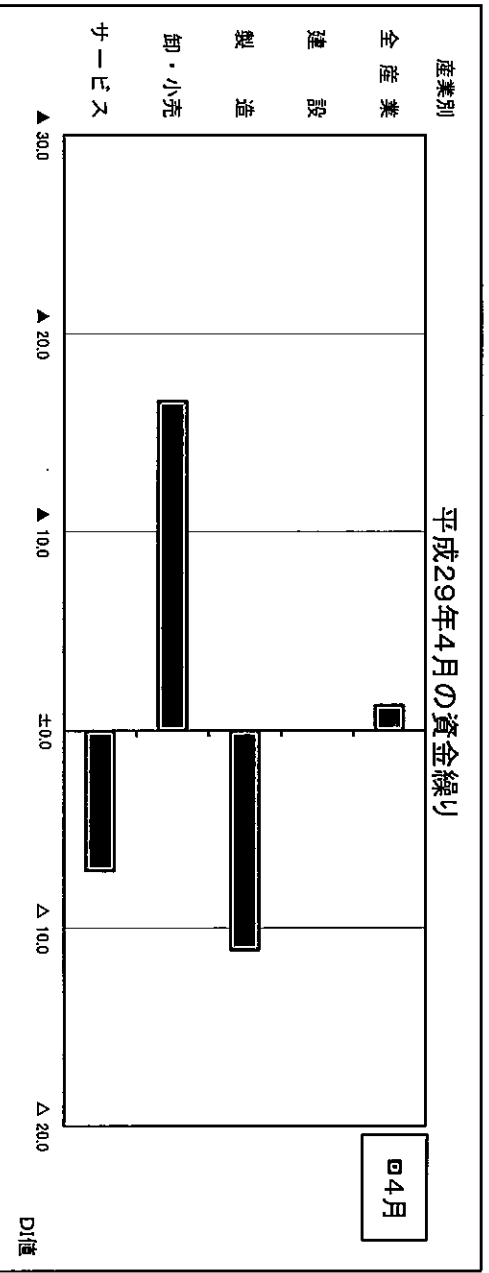
○4月の全産業合計のD1値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲1.3(前月水準▲2.6)となり、マイナス幅が1.3ポイント縮小した。
 業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、製造業△11.1(同±0.0)である。マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲17.3(同▲27.2)である。プラス幅が縮小した業種は、マイナス幅が大きい順に、サービス業△7.1(同△18.7)、建設業±0.0(同△5.0)である。

○向こう3ヶ月(5月から7月)の先行き見通しについては、全産業では、▲4.1(前月水準▲9.3)となり、マイナス幅が5.2ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、サービス業△7.1(同±0.0)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業▲21.7(同▲40.9)である。変わらない見通しの業種は、製造業±0.0(同±0.0)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、建設業△5.8(同△10.0)である。

平成29年4月の資金繰りD1値(前年同月比)の推移

	平成29年 11月	12月	平成29年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5月~7月(4月~6月)
全産業	▲14.8	▲6.6	▲7.6	▲4.1	▲2.6	▲1.3	▲4.1(▲9.3)
建設	±0.0	△5.5	△4.7	▲5.0	△5.0	±0.0	△5.8(△10.0)
製造	▲14.2	▲16.6	▲16.6	△5.8	±0.0	△11.1	±0.0(±0.0)
卸・小売	▲29.1	▲16.6	▲20.0	▲13.6	▲27.2	▲16.6	▲20.8(▲40.9)
サービス	▲12.5	△6.6	△7.1	±0.0	△18.7	△7.1	△7.1(±0.0)



【D1値集計表】

	売上高(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲2.7	▲1.3	▲9.5	▲12.3	▲24.6	▲19.1	△19.1	△20.5
建設	▲23.5	△5.8	▲29.4	▲5.8	▲29.4	▲17.6	△17.6	△11.7
製造	△11.1	△5.5	△16.6	±0.0	▲27.7	▲22.2	△5.5	△16.6
卸・小売	▲25.0	▲29.1	▲37.5	▲33.3	▲25.0	▲20.8	△20.8	△20.8
サービス	△42.8	△28.5	△28.5	±0.0	▲14.2	▲14.2	△35.7	△35.7

	業況		資金繰り	
	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲20.5	▲16.4	▲1.3	▲4.1
建設	▲17.6	▲11.7	±0.0	△5.8
製造	▲11.1	±0.0	△11.1	±0.0
卸・小売	▲41.6	▲37.5	▲16.6	▲20.8
サービス	±0.0	▲7.1	△7.1	△7.1

業種別	概況	キーワード	業種
建設	新年度を迎え、慌しかった仕事が急速に落ち着いた。平準化を進めて貰いたい。	新年度需要	土木工事業
	積算単価が低く、先行き見通しも不明。直前になって決定する物件が増加。	密単価減少 先行き不安	電気工事業
	今年度になり新築現場が例年より少ない。また今後の見積り依頼も例年より少ない。仕上げ業種のため他業種との現場の動きのずれがあるものの、全般的に物件が薄いようだ。そのため受注競争が激化、施工単価の下落が心配される。	新年度需要 受注減少 競争激化 単価下落	その他の職別工事業
	昨年に引き継ぎ、量表替・量表返し・新量仕上げ工事が増加。前年の4月ほど売上は高くなりませんが、受注がある事に感謝しつつ日々精進いたします。	工事好調 前年比減	内装工事業
需要変動が大きく人工の対応が難しくなっている。	需要変動	その他の機械・同部品製造業	
製造業	前年度、仕事量が多かったため、人手不足を補うため、外注に多く発注依頼したが今年度にはいり、注文が激減している。	新年度需要 受注減少	その他の金属製品製造業
	世界情勢の悪化は他人事の様な距離感ではなくなってきた。今年度の前段からの売上落ち込みは不安が残る。	世界情勢悪化 新年度需要 売上減少	印刷業
	大口顧客の不振が続いている為、新規取引先を開拓しているが、大幅な売上増に繋がっていない。	受注減少 先行き不安	一般産業用機械・装置製造業
	4月以降の急激な売上減少は、前年と比べての急激な減少である。前年と比べての急激な売上減少は、前年と比べての急激な減少である。	天候影響	婦人子供服小売業
卸小売	4月以降の急激な売上減少は、前年と比べての急激な減少である。前年と比べての急激な売上減少は、前年と比べての急激な減少である。	密単価減少 衣料品好調	その他の生活日用品小売業
	4月以降の急激な売上減少は、前年と比べての急激な減少である。前年と比べての急激な売上減少は、前年と比べての急激な減少である。	イベント影響 商圏狭小	その他の各種日用品小売業
	4月以降の急激な売上減少は、前年と比べての急激な減少である。前年と比べての急激な売上減少は、前年と比べての急激な減少である。	大型店出店 人件費増加 仕入上昇	各種食料品小売業
	4月以降の急激な売上減少は、前年と比べての急激な減少である。前年と比べての急激な売上減少は、前年と比べての急激な減少である。	天候影響 イベント影響 売上減少	菓子・イベント小売業
サービス業	4月入社(3月内定)した社員(2名)とパート(4名)が家庭の事情、病氣や仕事に馴染まない、子どもが小さく無理があったとの理由で退社。4月に毎週集業(広告)するが応募ゼロ。4月末になり少し応募が入る。経緯者(有資格者)の応募が少ない、人手不足が激しく当面のやりくりはできるが、業績に影響が出るので心配。新年度(新学期)用品の売上が前年度を上回る。夏日のたよりが出てから、夏物の引き合い(問い合わせ)が多くあり期待できる。	人手不足 新年度需要 天候影響	その他の飲食料品小売業
	運送業界の恒例化な人手不足が解消しない。	人手不足	一般貨物自動車運送業
	社有物件の販売が好調です。同業者からの情報が増えています。反響数も安定しています。リフォーム費が高どまっています。	不動産好調 リフォーム高騰	不動産管理業
	不動産は動きも一段落しました。大相撲相場所の様な気合の入った行事を考え実行する人間への助けをすべきです。	不動産好調 イベント影響	不動産賃貸業

◎受注減少(新年度需要減)

各業種より、「新年度に入り注文が激減している。」(その他の金属製品製造業)、「大口顧客の不振が続いている為、新規取引先を開拓しているが、大幅な売上増に繋がっていない。」(一般産業用機械・装置製造業)、「新年度を迎え、慌しかった仕事が急速に落ち着いた。平準化を進めて貰いたい。」(土木工事業)、「新年度になり、新築現場が例年より少ない。」(その他の職別工事業)などのコメントが寄せられた。

◎人手不足(人件費高騰)

各業種より、「人手不足が続くと当面のやりくりはできるが、業績に影響が出るので心配。」(その他の飲食料品小売業)、「運送業界の人手不足が解消しない。」(一般貨物自動車運送業)、「人件費の高騰、仕入単価の上昇などで採算ペース的にはまだまだ改善しなければならぬところが多くある。」(各種食料品小売業)などのコメントが寄せられた。

◎客単価減少

各業種より、「積算単価が低く、先行き見通しも不明。直前になって決定する物件が増加。」(電気工事業)、「受注競争が激化し、施工単価の下落が心配。」(その他の職別工事業)、「四月売上は前年対比で減少。食品は生鮮三品の相場が高まる傾向が続く、お客様一人当たり買上げ点数減、客数減が続いている。」(その他の各種商品小売業)などのコメントが寄せられた。

平成29年4月CCI-LOBOとの比較

【業況D1】 全産業合計では、「柏の景気」が▲20.81に対し、「CCI-LOBO」が▲17.3で柏の方がマイナス幅が3.5ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、製造業・サービス業であり、サービス業では10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業・卸小売業であり、卸小売業では10ポイント以上悪い。

【売上D1】 全産業合計では、「柏の景気」が▲2.7に対し、「CCI-LOBO」が▲10.0で柏の方がマイナス幅が7.3ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、製造業・卸小売業であり、それぞれ10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業・サービス業であり、建設業では10ポイント以上悪い。

【採算D1】 全産業合計では、「柏の景気」が▲9.7に対し、「CCI-LOBO」が▲14.3で柏の方がマイナス幅が4.6ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、製造業・卸小売業であり、それぞれ10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業・サービス業であり、それぞれ10ポイント以上悪い。






【仕入単価D1】 全産業合計では、「柏の景気」が▲25.01に対し、「CCI-LOBO」が▲32.2で柏の方がマイナス幅が7.3ポイント小さい。業種別では、全ての業種で「柏の景気」の方が良く、サービス業では10ポイント以上良い。

【従業員D1】 全産業合計では、「柏の景気」が△19.41に対し、「CCI-LOBO」が△20.9で柏の方がプラス幅が1.5ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、サービス業である。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業・製造業・卸小売業である。

【資金繰りD1】 全産業合計では、「柏の景気」が▲1.31に対し、「CCI-LOBO」が▲7.5で柏の方がマイナス幅が6.2ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、製造業・卸小売業・サービス業であり、製造業とサービス業では10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業である。

平成29年4月の柏の景気天気図

柏の景気情報と全国CCI-LOBOとの比較

景気天気図					
	特に好調 DI≥50	好調 50>DI≥25	まあまあ 25>DI≥0	不振 0>DI≥▲25	極めて不振 ▲25>DI

業況DI	全産業					建設					製造					卸小売					サービス									
	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色					
柏の景気	▲20.5	▲	17.6	▲	11.1	▲17.6	▲	11.1	▲	11.1	▲11.1	▲	11.1	▲	11.1	▲25.0	▲	25.0	▲	25.0	▲16.6	▲	16.6	▲	16.6	▲7.1	▲	7.1	▲	7.1
CCI-LOBO	▲17.3	▲	10.6	▲	11.3	▲10.6	▲	11.3	▲	11.3	▲11.3	▲	11.3	▲	11.3	▲24.6	▲	24.6	▲	24.6	▲18.3	▲	18.3	▲	18.3	▲7.1	▲	7.1	▲	7.1

売上DI	全産業					建設					製造					卸小売					サービス									
	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色					
柏の景気	▲2.7	▲	29.4	▲	27.7	▲2.7	▲	29.4	▲	27.7	▲11.1	▲	11.1	▲	11.1	▲25.0	▲	25.0	▲	25.0	▲16.6	▲	16.6	▲	16.6	▲7.1	▲	7.1	▲	7.1
CCI-LOBO	▲10.0	▲	5.3	▲	4.9	▲5.3	▲	4.9	▲	4.9	▲4.9	▲	4.9	▲	4.9	▲24.6	▲	24.6	▲	24.6	▲18.3	▲	18.3	▲	18.3	▲7.1	▲	7.1	▲	7.1

採算DI	全産業					建設					製造					卸小売					サービス									
	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色					
柏の景気	▲9.5	▲	29.4	▲	27.7	▲9.5	▲	29.4	▲	27.7	▲16.6	▲	16.6	▲	16.6	▲25.0	▲	25.0	▲	25.0	▲14.2	▲	14.2	▲	14.2	▲28.5	▲	28.5	▲	28.5
CCI-LOBO	▲14.3	▲	11.5	▲	6.4	▲11.5	▲	6.4	▲	6.4	▲6.4	▲	6.4	▲	6.4	▲28.3	▲	28.3	▲	28.3	▲14.7	▲	14.7	▲	14.7	▲14.7	▲	14.7	▲	14.7

仕入単価DI	全産業					建設					製造					卸小売					サービス									
	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色					
柏の景気	▲24.6	▲	29.4	▲	27.7	▲24.6	▲	29.4	▲	27.7	▲27.7	▲	27.7	▲	27.7	▲25.0	▲	25.0	▲	25.0	▲14.2	▲	14.2	▲	14.2	▲14.2	▲	14.2	▲	14.2
CCI-LOBO	▲32.3	▲	36.5	▲	30.6	▲36.5	▲	30.6	▲	30.6	▲30.6	▲	30.6	▲	30.6	▲29.0	▲	29.0	▲	29.0	▲34.8	▲	34.8	▲	34.8	▲34.8	▲	34.8	▲	34.8

従業員DI	全産業					建設					製造					卸小売					サービス									
	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色					
柏の景気	19.1	▲	17.6	▲	11.1	19.1	▲	17.6	▲	11.1	20.8	▲	20.8	▲	20.8	▲20.8	▲	20.8	▲	20.8	▲29.5	▲	29.5	▲	29.5	▲29.5	▲	29.5	▲	29.5
CCI-LOBO	20.9	▲	25.7	▲	10.6	25.7	▲	10.6	▲	10.6	23.5	▲	23.5	▲	23.5	▲23.5	▲	23.5	▲	23.5	▲29.5	▲	29.5	▲	29.5	▲29.5	▲	29.5	▲	29.5

資金繰りDI	全産業					建設					製造					卸小売					サービス									
	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色	値	変	点	数	色					
柏の景気	▲1.3	▲	±0.0	▲	11.1	▲1.3	▲	±0.0	▲	11.1	▲11.1	▲	11.1	▲	11.1	▲16.6	▲	16.6	▲	16.6	▲7.1	▲	7.1	▲	7.1	▲7.1	▲	7.1	▲	7.1
CCI-LOBO	▲7.5	▲	1.2	▲	6.4	▲7.5	▲	1.2	▲	6.4	▲6.4	▲	6.4	▲	6.4	▲18.3	▲	18.3	▲	18.3	▲7.1	▲	7.1	▲	7.1	▲7.1	▲	7.1	▲	7.1



は「柏の景気」の方が、10ポイント以上良い項目



は「柏の景気」の方が、10ポイント以上悪い項目

柏の景気情報

(4月の調査結果のポイント)

調査期間：平成29年4月21日～5月8日

調査対象：柏市内156事業所及び組合に

ヒアリングが、回答数73件

柏市の業況

業況DIはやや悪化に転じる。先行きは依然として不透明感が強い。

4月の全産業合計のDI値前年同月比ベース以下同じは▲20.8前月水準▲13.3となり、売上増と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、前の他の職別工事業、「昨年引き続き、豊暮替・豊返が、売上の上昇が減少した。新賃上げ工事が増加し、新賃任上げ工事が増加した業種は、製造業▲4.3、4回▲5.0、前年の四月ほど売上は高くないが、受注がある事に感謝し日々精進する。」(内装工事業)などのコメントが寄せられた。

1. 1回△5.8である。転じた業種は、製造業▲10.0同△12.5である。プラスからマイナスに

柏の景気情報・産業別業況DI

全産業	建設	製造	卸・小売	サービス
11月 ▲24.3	▲25.0	▲14.2	▲41.6	▲6.2
12月 ▲18.6	▲16.6	▲16.6	▲33.3	±0.0
1月 ▲24.3	▲23.8	▲11.1	▲44.0	▲7.1
2月 ▲22.2	▲20.0	△5.8	▲45.4	▲23.0
3月 ▲13.3	▲10.0	△5.8	▲50.0	△12.5
4月 ▲20.8	▲17.6	▲11.1	▲43.4	±0.0
見通し ▲16.6	▲11.7	±0.0	▲39.1	▲7.1

「見通し」は今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

マイナス幅が拡大した業種は、建設業▲17.6回▲10.0である。

【建設業】からは、「新年度を迎え、慌しかった仕事は急遽に萎んだ。平準化を進めて貰いたい。」(土木工事業、「今年度になり、新築現場が例年より少ない。」(その他職別工事業)、「昨年引き続き、豊暮替・豊返が、売上の増が減少した。新賃任上げ工事が増加し、新賃任上げ工事が増加した業種は、製造業▲4.3、4回▲5.0、前年の四月ほど売上は高くないが、受注がある事に感謝し日々精進する。」(内装工事業)などのコメントが寄せられた。

【製造業】からは、「需要変動が大きく、人工の対応が難しくなってきた。」(その他の機械同部品製造業)、「前年度は仕事量が多かったので、人手不足を補うため外注に多く発注依頼したが、新年度に入り注文数が激減している。」(その他の金属製品製造業)、「世界情勢の悪化は他人事の様な距離感ではなくなってきた。今年度の前段からの売上落ち込みは不安が残る。」(印刷業)などのコメントが寄せられた。

【卸小売業】からは、「四月上旬は低温化が続き、十日ものがあった。気温が平年並

費が高止まりしている。」(不動産管理業)、「不動産を取り戻すことはできていない。」(婦人・子供服小売業)、「連休に向けて集客が見込めるイベントがない。商圏が狭くなっている。」(その他の各種商品小売業)、「昨年度大型食品店舗がこの地域に出店し、大きな売上のマイナスがあったに引き続き、豊暮替・豊返が、売上の上昇が減少した。新賃任上げ工事が増加し、新賃任上げ工事が増加した業種は、製造業▲4.3、4回▲5.0、前年の四月ほど売上は高くないが、受注がある事に感謝し日々精進する。」(内装工事業)などのコメントが寄せられた。

4月の景気ポイント

◎受注減少(新年度準備減)
各業種より、「新年度に入ると注文が激減している。」(その他の金属製品製造業)、「大口顧客の不振が続いている為、新規取引先を開拓しているが、大幅な売上増に繋がっていない。」(一般産業用機械・装置製造業)、「新年度を迎え、慌しかった仕事は急遽に萎んだ。平準化を進めて貰いたい。」(土木工事業)、「今年度になり、新築現場が例年より少ない。」(その他の職別工事業)などのコメントが寄せられた。

人手不足(人件費高騰)

各業種より、「人手不足が続くと当面のやりくりはできず、業績に影響が出るので心配。」(その他の飲食料用品小売業)、「運送業界の人手不足が解消しない。」(一般産業用機械・装置製造業)、「新年度(新学期)用品の売上が前年度を上回る。夏日のたよりが出てから、夏物の問い合わせが多くあり期待できな。前年度は仕事量が多かった。人手不足を補うため外注に多く発注依頼したが、新年度に入り注文数が激減している。」(その他の金属製品製造業)、「世界情勢の悪化は他人事の様な距離感ではなくなってきた。今年度の前段からの売上落ち込みは不安が残る。」(印刷業)などのコメントが寄せられた。

客単価減少

各業種より、「積算単価が低く、先行き見通しも不明で、直前になって決定する物件が増加。」(電気工事業)、「受注競争が激化し、施工単価の下落が心配。」(その他の職別工事業)、「四月売上は前年対比で減少。食品は生鮮三品の相場が高まる傾向が続き、お客様一人当たり買上げ点数減、客数減が続いている。」(その他の各種商品小売業)などのコメントが寄せられた。

C1・LOBとの比較

全産業合計では、「柏の景気は▲20.8に対して、C1・LOBが▲17.3で柏の方がマイナス幅が3.5ポイント大きい。業種別では、製造業・サービス業であり、サービス業では10ポイント以上悪い。柏の景気の方が悪い業種は、建設業・卸小売業であり、卸小売業では10ポイント以上悪い。」

【サービス業】からは、「四月上旬は低温化が続き、十日ものがあった。気温が平年並

みになってからは、売上も上昇してきたが前半のマイナス(不動産管理業)、「不動産を取り戻すことはできていない。」(婦人・子供服小売業)、「連休に向けて集客が見込めるイベントがない。商圏が狭くなっている。」(その他の各種商品小売業)、「昨年度大型食品店舗がこの地域に出店し、大

調査期間：平成29年4月21日～5月8日

調査対象：柏市内156事業所及び組合に

ヒアリングが、回答数73件

CCI-LOBO

商工会議所早期景気観測(4月速報)

調査期間：平成29年4月13日～19日

調査対象：全国の423商工会議所が2997企業

にヒアリング調査を実施

全国の業況
業況DIは、2カ月連続改善。先行きは懸念材料多く
横ばい圏内の動き

4月の全産業合計の業況DIは、▲17.3と、前月から+2.8ポイントの改善。ただし、「悪化から不変への変化が押し上げ要因となったことに留意が必要。インバウンドを含め春の観光需要の堅調な動きから、小売業、卸売業、サービス業の業況感が改善した。また電子部品や自動車関連で引き続き好調な生産を指摘する声が聞かれたほか、設備投資に持ち直しの動きが見られた。一方消費者の節約志向、人手不足の影響拡大、原料燃料の値上りが依然中小企業の足かせとなっており、業況改善に向けた動きは力強さを欠く。

先行きについては、先行き見通しDIが▲17.5(今月比▲0.2ポイント)とほぼ横ばいを見込む。ゴリブンウイークに伴う観光需要など消費の拡大や、海外経済の回復に期待する声が聞かれる。他方消費の一段の悪化、人手不足の影響拡大、原材料・燃料価格の上昇、地政学的リスクや不安定な金融市場が実体経済に及ぼす影響などで、先行きの懸念を指摘する声は多く、中小企業の業況は横ばい圏内で推移する見通し。産業別にかかる

4月の全産業合計の業況DIは、▲17.3と、前月から+2.8ポイントの改善。ただし、「悪化から不変への変化が押し上げ要因となったことに留意が必要。インバウンドを含め春の観光需要の堅調な動きから、小売業、卸売業、サービス業の業況感が改善した。また電子部品や自動車関連で引き続き好調な生産を指摘する声が聞かれたほか、設備投資に持ち直しの動きが見られた。一方消費者の節約志向、人手不足の影響拡大、原料燃料の値上りが依然中小企業の足かせとなっており、業況改善に向けた動きは力強さを欠く。

す影響などで、先行きの懸念を指摘する声は多く、中小企業の業況は横ばい圏内で推移する見通し。産業別にかかる○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「補正予算による公共工事の発注が多く、受注量を十分に確保できたため、売上は改善した。ただし、人手不足で受注機会を損失しているため、これ以上の売上拡大は見込めない」(一般工事業)、「業者間の価格競争が激しい中、人件費や外注費、資材価格が上昇しており、適正利益の確保が難しい」(管工事業)

【製造業】「原材料価格が上昇したものの、売上高の伸びが上回り、採算は確保できてきている。更なる売上改善を見込むため、正規、非正規問わず採用を増やす予定」(電子部品製造業)、「輸出が好調なため売上は改善したが、地政学的リスクの高まりを主因とした円高進行に加え、販売先からの単価引き下げや短納期要請などにより、今後は

先行きの懸念を指摘する声は多く、中小企業の業況は横ばい圏内で推移する見通し。産業別にかかる○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

厳しい経営環境が見込まれる(自動車部品製造業)
【卸売業】「東京オリンピックなど再開発関連からの引き合いが多く、売上は改善した。少なくとも当面は安定した需要がありそうだ」(建設資材)「卸売業、ファット野菜などの加工品の売上は増加傾向にあるが、物流コストの上昇が顕著。販売価格への転嫁は難しく、採算が圧迫されている」(農産物卸売業)

【小売業】「目立った売れ筋商品は無いが、品質の高い日本製商品への人気は底堅く、インバウンド需要は堅調」(化粧品小売業)、「消費の二極化が進み、富裕層による高額品販売は堅調なものの中、中間層の節約志向が根強く、全体の売上は微減した。インタネット通販では味わえない実店舗の臨場感を活かした催事を開催し、巻き返しを図りたい」(百貨店)

【サービス業】「受注量が増加したことに加え、受注単価も上昇傾向にあり、売上は好調。だが、技術者不足による調。だが、技術者不足による外注費の増加が課題」(ソフトウェア業)、「例年に比べ、桜が満開になるまでに時間がかかったことで、前年より多く

員の時給を上げたことに加え、仕入価格も上昇しているため、価格改定を検討している(飲食業)

全国・産業別業況DIの推移

見通しは当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

	全産業	建設	製造	卸売	小売	サービス
11月	▲22.9	▲11.0	▲18.2	▲26.4	▲38.5	▲20.3
12月	▲21.7	▲12.7	▲19.6	▲22.5	▲38.2	▲14.6
1月	▲23.0	▲16.7	▲13.9	▲25.4	▲42.0	▲18.5
2月	▲24.0	▲14.6	▲17.1	▲32.5	▲40.4	▲18.6
3月	▲20.1	▲9.6	▲12.8	▲24.2	▲40.5	▲14.7
4月	▲17.3	▲10.6	▲11.3	▲18.9	▲33.0	▲12.5
見通し	▲17.5	▲18.3	▲11.3	▲18.9	▲30.6	▲11.0